

# 東白川村 美しい村づくり 委員会

## 第 26 回

○場 所：ふれあいサロン

○時 期：平成 30 年 6 月 25 日 19:00~21:00

○参加者：委員 11 名 一般参加 4 名 行政 3 名

## 第 1 久須見地区 集落あるもの探しについて

### 1 参加者の感想

- (1) 集落を歩く機会が無く、行った事のない場所にいけて良かった。
- (2) 案内役の方からお話を聞くことで、その当時のイメージが浮かんできた。鳥屋跡が印象的だった。
- (3) 山深いところで、滝や水、香りに癒しを感じた。
- (4) 案内役の方から民間伝承の話聞くことができて良かった。
- (5) 豊かな集落だと思った。久須見神社があることにビックリした。  
イメージワードは「東白川村のマチュピチュ」！

### 2 次回開催について

8 月と 9 月の開催は見送りし、10 月開催を予定します。

## 第 2 高野教授による勉強会（第 1 回 移住定住について）

平成 30 年度に委員会では高野教授による勉強会を数回予定しています。今回はその第 1 回目が行われました。

### 1 高野教授のプロフィール

名古屋大学で地球学を研究後、環境学へと移籍。現在、名古屋大学大学院環境学研究科・持続的共発展教育研究センターで教授を務める。様々な専門家と協働し、主として地下資源が枯渇した千年後も成り立つ地球と社会のシステムを作り出すための『千年持続学』を研究。地域住民、行政とともに中山間地の地域再生に取り組んでいる。

◆「ミライの職業訓練校」校長

◆近編著：「持続可能な生き方をデザインしよう」（2017 明石書店）

～世界・宇宙・未来を通していまを生きる意味を考える ESD 実践学～

## 2 レクチャー「東白川村の未来について」の内容

- (1) まちの未来をリアルに考えるには・・・未来の人口を知る。  
名古屋大学大学院環境学研究科付属持続的共発展教育研究センター提供  
「小地域ごとの簡易人口推計ツール」を使用。
- (2) 人口からみた地域の将来
- (3) 過疎＝人口減少・少子高齢化が地域問題の根源
- (4) 移住者受け入れを進めるには、地域ぐるみの取り組みが必要
- (5) 都市住民の農山漁村への定住願望（内閣府調査 2014 年）
- (6) 岐阜県の移住者実績
- (7) 子どもの数が V 字回復する地域がでてきた
- (8) 移住者へ聞く、移住した理由とは
- (9) 地域の空き家について
- (10) ガイドブック「移住者受け入れスタートガイド」  
出典「豊田市おいでんさんそんセンター」
- (11) 愛知県設楽町の取り組み
- (12) なぜ、住民主体で移住・定住に取り組む必要があるのか
- (13) では、東白川村はどうする？

## 3 意見交流

- (1) ・住民が動くために、まず何から始めたらいい？  
・小さい単位でも良いので、話し合うこと。  
・ある地域では、農地法や不動産、交渉術について学習会を開催している。
- (2) ・最初の話し合いは誰から、どのように行ったらいい？  
・それについて、美しい村づくり委員会で話し合ってみたら良い。  
・4～5人の少人数で話し合いから始める。また、移住者と地元住民の両方が入っていると良い。  
・世代別に話し合うのも良い。  
・空き家バンク登録物件に住んでいますが、気に入っていた設備が

- 壊れてきました。移住後も補修などの補助があるといい。
- ・空き家自体のウィークポイントを先に説明しておくことも大事。
  - ・空き家に住む覚悟を持つことが大事。
- (4) ・地域の子どもの数が少ないことを実感している。利活用されている空き家へのケアがあると良い。
- ・例えば、住み始めて3年間は補助金が使えるなど。
- (5) ・空き家の賃貸物件があると良い。  
(移住側としていきなり買うのは抵抗がある)
- (6) ・移住者を増やしたいと活動していたが時期尚早だった。(2009)
- ・地域の人が動かないと意味がない。小さい単位から始めよう。
  - ・成功している地域には強いリーダーがいるが、成功のために何もかもを犠牲にしてきた印象がある。もう少し、みんながサポートできる体制を整え、一人の負担が減れば、地域は一步踏み出せるのではないか。
  - ・同じ趣味の集まりや、多世代が集まれる場所作りをすることで、多様な意見交換ができる。
  - ・楽しいと人は動く。楽しんで取り組むことで結果がでる。
  - ・ネイティブ(地元住民)が1人動くことで、移住者の方もどんどん協力してくれる。
- (7) ・10月の集落座談会で人口推計の話しをして、地域が積極的に動かないと集落の未来がなくなるかもしれないという危機感を持ってもらいたい。(村長)

### 第3 次回について

1 委員会 7月23日(月)19時～

(会場) ふれあいサロン

(内容) 持続可能な東白川村をデザインしよう

～高野教授との学びの場～

「第2回 なりわいづくり」

以上

委員会の風景↓



第26回 2018.6.25.  
改修補助金はいつまで利用可能??

- 学習会 (農地法)**  
 (不動産)  
 (交渉)
- 合意???**  
 → 過半数決え.
- はじめの一步は?**  
 → 委員会を考えよう!  
 → 今ある「つながり」  
 → 地元住民 × 移住者
- 空家の様々な特性がある.  
 → 皆で考えてみよう!
- 設備へのケア、お金かかる。(泣)  
 → 「弱点」をしっかりと説明  
 スッキリ! (笑)(笑)
- キーマン (強..三越) (弱..ムカ) 助け合え.
- 子供の数 増えればいい! (空家の家族比)
- 利活用物件へのケアの在り方
  - 賃貸物件が「成約」せぬ!
    - 売買取引に入ると×リットある!
    - 地域が「未来断」(小さな単位がS)
    - 実感: いました。
  - 楽いコトはモゴトはスル!
    - どなたと?? ヤギ
    - 若い世代は 生活を豊かに!!
    - 2.3世代ができてくる
- 生活の困りごとと 住民 合意が重要
- 人との「つながり」が大切. ↑
- 空家の活用は??
  - 空家の場
  - 女性の正職とは?
  - 村を求めているのとは 違うかな?
  - 家族、どちら??
- 仕事**
  - 行政職員も 地域の未来を 知ろう!
  - 次の 高野教授WSは